

目次

二、三の問題 .....水越達雄...1  
 豊川用水の計画について .....杉田栄司...2  
 東海道幹線自動車国道の計画について .....樽井常忠...5  
 東電五井火力のセル護岸工事について .....鍋木宏...12  
 一ツ瀬ダムの骨材採取について .....浅田良太郎...17  
 矢野信太郎  
 土木機械技術者に必要な土の性質について .....永盛峰雄...23  
 欧州の旅(その3)  
 コンクリートスプレイングマシン、コンクリートポンプ  
 およびコンクリートプレーサについて .....小竹秀雄...29  
 ソ連の見本市見てある記 .....石川正夫...33  
 工事現場の盲点(その3)  
 I. コンクリート工事におけるパイプレータの現状  
 と実績 .....斎藤二郎...36  
 II. コンクリート振動機について  
 ー特にフレキシブル式内部振動機を中心にー .....京谷弘道...37  
 スピードキャットブルドーザを使用して .....津田貞臣...41  
 「技術部会報告」  
 ころがり軸受について .....機素研究委員会ころがり軸受専門委員会...43  
 Cummins JT-6-BI形ディーゼル機関性能試験 .....ディーゼル機関技術委員会...47  
 小松 WD 45 S 形道路維持車について .....折橋俊郎...50  
 「支部便り」  
 昭和36年度東北支部第6回建設機械展示会の概況 .....東北支部...53  
 苫小牧工業港工事見学会開催 .....北海道支部...54  
 建設工事の機械経費積算基準の説明会 .....北海道支部...54  
 ニューズ .....(編集部)...55  
 行事一覧・編集後記 .....(柴田・川勝)...56  
 本協会の団体会員一覧

◇表紙写真説明◇

西独メンク社製 スクレーブ・ドーザ SR 53

本機は今回西独メンク社より輸入され、日本においては初めて神戸市東部海面埋立工事の土砂採取場である鶴甲山において使用中のものである。なおこのスクレーブ・ドーザは鉄道車両・建設機械のメーカーである日本車輛製造株式会社が同社と技術提携をとり決め、既に技術打合わせも終わり生産に着手し、国産化され近く国内において発売される予定である。

▶本機の特長

- (1) ブルドーザとスクレーバの両方の機能を有するので本機のみで削土、積込、運搬、敷き均し、整地等一連の土工作业ができる。
- (2) トラクタけん引スクレーバはもちろんモータスクレーバより長さが短いので狭い作業場で利用できる。
- (3) スクレーバに比べ接地圧が小で軟弱地盤への適応性が大きく不斉地の走行も楽である。
- (4) クローラの中心と機体の重心が一致しているので、積載土砂の重量も粘着重量として役立ちボウルの内容が増すにつれて掘削力も増す。
- (5) 行動が天候に左右されない。
- (6) 斜面を登りつつ、掘削、捨土できる。
- (7) 前後進自在のため、走路の端でUターンの要なく狭い場所でも使用でき、また旋回のためのデッドタイムが省ける。なお急角度に曲がれる。
- (8) ボウル内の土砂を前方に放出し進路の足場を自から改良して走れる。
- (9) 盛土は最大厚さ 1.3 m まで可能である。
- (10) 特別付属品をつけることにより水深 1.8 m の所で作業することができる。
- (11) 動力は搭載ディーゼルエンジンにより、運転操縦、ボウルの昇降、エプロン、エジェクタおよびドーザブレードの操作もすべて油圧機構でワンマンコントロールができる。

本機の詳細は本誌 12 月号を参照願います。なお日本車輛製造株式会社が国産化の場合は

総代理店 日熊工機株式会社  
 全国販売代理店 東京通商株式会社